

1 教科（領域） 国語（話す・聞く）

2 単元名・教材名 聞く人の心に届くように発表しよう 「今、わたしは、ぼくは」

3 単元の目標

◎小学校生活を振り返り、将来に向かって考えていることを、効果的に伝わるようにスピーチすることができる。

○相手や場面に応じた適切な構成、言葉遣いで話すことができる。

○友達の話を聞き、エピソードから意図を聞き取ることができる。

4 単元について

（1）児童の実態（課題を中心に）

6年生は、男子18名、女子18名（特別支援1名を含む）計36名のクラスである。学習面では、落ち着いて真面目に学習に臨む姿勢が身に付いているが、思春期に見られる羞恥心から間違いなどを恐れ、発言意欲の個人差が大きい。また、生活面では、男女間に分かれて行動することが多く、休み時間は、男子は校庭で活発に過ごし、女子は室内で穏やかに過ごすことが多い。学級では、男女を隣の席にするなどより交流が促進されるように取り組み、徐々に改善されてきている。

また、言語活動に関わるアンケート調査からは、「普段の生活であまりメモをしていない」「文章や図表などの内容をもとに考えを表現しようとしめない」という実態から、「自分の語彙に自信が持てない」「様々な言葉を積極的に使おうとしめない」という児童が多く、授業中など「発言に消極的である」という言語活動の課題が見られた。

（2）教材について

6年生は、小学校生活も残り少なくなり、中学校への期待や不安など複雑な感慨を抱きはじめている。このような時期に、これまでの生活を振り返り、将来への希望や決意を表現することは、自分の考えを表現する意欲を向上させる題材であり、相手の思いを知りたいと思う題材でもある。また、お互いの思いを共有しやすい題材であることから、意見交換などのコミュニケーションも期待できると考え、本教材を設定した。

本教材は「話すこと、聞くこと」のまとめの教材である。今まで培ってきた話し言葉を駆使し、自分の思いを聞き手の心に届けられた実感を持たせたい。そこで、まず、これまでの小学校生活を振り返る中で、自分の興味関心や特性を再確認し、「現在の自分」を自分自身で再認識させるようにした。このことを通じて、自分の将来を考えることが困難な児童や漠然と将来を考えている児童が将来の夢を決定していく支援としたいと考えている。次に、その夢を持つようになった「きっかけ」を考える活動を通じて、自分がその夢を持つようになった理由を、聞き手に分かり易く伝える一助としたい。また、自分の夢を実現するための方法を、インターネットや資料を使って調べる活動を通して、夢を実現させる具体的な取り組みや「今、できること」などを紹介しやすくしていきたい。さらに、「夢が実現したらしたいこと」を考えさせることにより、将来の人間像（どんな大人になりたいのか）を意識させることにもつながり、自分の思いをより強くして、聞き手に伝えることができるのではないかと考えている。

一方、それぞれの学習段階に応じてワークシートを活用していくようにしたい。スピーチをより作りやすいように、一つ一つのステップごとに記録できるように配慮し、最終的な構成をしやすくしていきたいと考えている。また、スピーチの聞き手が「聞く観点」を持って聞くことができるワークシートも準備し、相手の思いや意図をしっかりと聞くことができるようにしていきたい。

5 指導計画

次・時	学 習 活 動
1 1	<p>○スピーチの目的をつかみスピーチを考える手順を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞く人の心に届く」 ということなのか話し合い、スピーチのイメージをつかむ。 ・教材文を読んで、スピーチを考える手順を理解する。 ・教材名「今、わたしは、ぼくは」について話し合う。 ・「なんのために」「だれに向けて」といった観点から、スピーチ発表の場について話し合う。 ・付録の CD を聞き、発表の様子をとらえる。
2 2 3 4 5	<p>○「聞く人の心に届く」スピーチをするために、話題と構成を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表に仕方について確認する。 ・教科書の例を参考に、材料と全体の組み立て方について確認する。 <p>☆自分の発表の「材料」について考える。(ワークシート1参照)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・「考える観点」を記入したワークシートをもとに、スピーチの材料を見つけさせる。</p> <p><観点> ①仕事内容の紹介 ②思った動機(きっかけ)</p> <p> ③実現方法 ④今できること(小ステップ)</p> <p> ⑤実現後の夢 ⑥自分の観点)</p> </div> <p>☆自分の発表の「組み立て」について考える。(ワークシート2参照)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・「組み立てる観点」を記入したワークシートをもとに、スピーチの組み立てを考えさせる。</p> <p><観点> ①初め(導入) ②中(展開) ③結び(まとめ)</p> <p>※「結論から」「山場から」「問いかけから」など多様な始め方の例を示し、構成を考える必要感を持たせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の発表例を参考にして、話し方の工夫について考える。 <p>☆自分の材料メモや構成表(ワークシート1, 2)について、工夫しながら、ペアで発表の練習をする。(ワークシート3参照)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・「聞く観点」を記入したワークシートをもとに、目標となる話し方を明確にし、スピーチの自己評価や相互評価をさせる。</p> <p><観点> ①自分の話し方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ 声の調子 話す速さ <p>②友達の発表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝わってきたこと 話の組み立て 声の大きさ ・声の調子 話す速さ <p>※「聞く人の心に届く」という観点から、良さを見つけたり、アドバイスができるように支援する。</p> </div>

3
6, 7

- 聞く人の心に届けることを意識して、スピーチをすることができる。
- ・発表会への心構えを確認し合う。
- ・ペアで確認したことを参考に、中心となる部分の声の大きさや調子、話す速さなどに注意して発表し合う。(ワークシート3参照)

・「聞く観点」を記入したワークシートをもとに、目標となる話し方を明確にし、スピーチの自己評価や相互評価をさせる。

< 観点 > ①自分の話し方について

- ・声の大きさ
- ・声の調子
- ・話す速さ

②友達の発表について

- ・伝わってきたこと
- ・話の組み立て
- ・声の大きさ
- ・声の調子
- ・話す速さ

※「聞く人の心に届く」という観点から、良さを見つけたり、アドバイスができるように支援する。

- ・発表会を振り返り、感想をまとめる。

6 参考資料

< ワークシート1 >

**伝えたじよの中心
(将来の夢は?)**
医者(内科)

- 材料1: どんな仕事? 診療所を開院したり病院に勤め患者に接し診断する
- 材料2: きろくは? おじいちゃん、病気の自分の病気
- 材料3: どうすればなれるの? 医療系大学や大学の医学部を卒業し国家試験を受ける。医師免許を取った後に臨床研修修了して働く。
- 材料4: 今できることは? 小学校や中学校、小学生や中学校で習った勉強をしっかり復習する。近所の看護師さんや、近所の看護士さんをしてもらうか聞く
- 材料5: 実現したらしてみたいことは? おじいちゃんと同じ病気の人を一人でも多く助りたい
- 材料6: 今医師かどういふ状況なのか? 少子高齢化で医者になる人が少ない。先は、いや上司が指導してくれず医療事故が多発している

1

今、わたしは、ぼくは

名前

●スピーチで「伝えたじよの中心」と「その下に」にかかわる材料を書きましよう。

< ワークシート2 >

結 び	中	初 め
<p>○医師という仕事か今どういふ状況なのか、少子高齢化で医者が減少している</p> <p>○医師にならうとした事、おじいちゃんと同じ病気の人も、重い病気の人も一人でも多く助きたい</p>	<p>○おじいちゃんの治療の出来なかつた病気が、骨すい臓で七こなつて悔しい、思ひました</p> <p>○自分の病気が、私と同じ病気が糖尿病になつた時の気持ち</p>	<p>○「医師」という仕事を知っていますか。 (どうすればなれるか) ○国家試験を受けて医師免許を取った後に臨床研修医として働く</p>

2

今、わたしは、ぼくは

名前

●教科書の発表例を参考に、材料メモを構成表にまとめましよう。

☆ 「声の大きさ」「声の調子」「話す速さ」などの工夫を考えましよう。

< ワークシート3 >

<p>【よかったところやアドバイス】</p>			<p>二 友達の発表を聞いて、感じたこと、よかったところやアドバイスなどを書き、わたしてあげましょう。</p>	<p>一 自分の話し方についてより振り返りましょう。</p>		
話す速さは	声の大きさや調子は	話の組み立ては		話す速さについて	声の調子について	中心となる部分の声の大きさについて

<p>【伝わってきたこと】</p>		さんへ
<p>(より)</p>		

<p>3</p>		今、わたしは、ぼくは
		名前

< 児童の様子 >



インターネットでの職業調べ



ワークシートでスピーチ作り



ペアでスピーチの相互評価

7 成果と課題

(1) 成果

- ・「ワークシート1」の内容を参考にして、自分の思いを円滑に整理することができた。
- ・「ワークシート2」の形式を参考にすることで「ワークシート1」の伝えたいことを構成しやすくなり、スピーチ原稿を効率よくまとめることができた。
- ・各種「ワークシート」を利用することで、自分の思いをしっかりとまとめることができたので、ペアでの発表から活発に意見交換される姿が見られ、コミュニケーションが促進された。
- ・「ワークシート3」を利用することで、聞く観点を持って発表を聞くことができ、自己評価や相互評価に有効であり、意見交換にも成果が見られた。

(2) 課題

- ・「ワークシート3」については、スピーチ後に記入する時間がかかり、数多くスピーチを実施するための時間確保が困難だった。今後は、利用する場面を精査し、必要に応じて補助的に利用するようにしていきたい。
- ・スピーチ原稿を全文作成して発表する児童がほとんどであった。さらに取り組みを進め、ポイントを記した程度のメモ等を活用しながら、その場でスピーチを構成することにも挑戦させていきたい。